

各 位

2026年7月31日

景観エクステリア分野のさらなる拡大へ SDAT社より一部製品を譲受

四国化成ホールディングス㈱のグループ会社で建材事業を展開する四国化成建材㈱（本社：香川県丸亀市、代表取締役社長：眞鍋宣訓、以下「当社」）は、㈱SDAT（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：御所名健司 以下「SDAT 社」）が製造・販売する「コアパネル※1」事業の営業・販売権を譲受することで合意し、2027年1月の譲受完了に向けた手続きを開始しましたので、お知らせいたします。

今回の製品譲受により、これまで当社製品では対応が難しかった大屋根や庇（ひさし）などの対応が可能となります。これにより、駅前再開発や都市計画といった大規模公共施設などにおいて、景観エクステリアをトータルで提案できる体制を強化し、さらなる事業拡大を目指してまいります。

「コアパネル」を使用したアーチウェイ（シェルター）



※1 「コアパネル」について

「コアパネル」は、特殊な内部構造を持つ大型のアルミ押出型材です。パネル自体が高い構造性能を有しているため、梁の本数を抑えた大空間の屋根づくりを実現できます。さらに、電解着色や塗装など多様な表面仕上げにも対応しており、優れた意匠性を備えていることから公共施設や駅前空間、商業施設などの景観エクステリアで幅広く採用されています。

製品譲受の背景と目的

SDAT 社は、2022 年より「コアパネル」を中心とした景観事業を展開してきましたが、今後は大型押出型材の販売のみを行う方針です。一方、当社はアルミ系景観エクステリア分野において国内トップシェアを有し、長年にわたり培ってきた設計提案力を強みとしています。このたび SDAT 社のコアパネル事業を譲受することで、当社の製品ラインアップを拡充し、これまで既存製品では対応が難しかった大屋根を含む景観エクステリアへの提案が可能となります。梁の本数を抑えた大空間の屋根を実現できるため、一般的なアルミ型材では実現が難しかった長尺・大面積の空間にも対応できるようになります。

今後は、設計自由度の高い「コアパネル」と当社の設計提案力を組み合わせることで、意匠性と機能性を兼ね備えた空間づくりを実現し、お客様への提供価値の向上と景観エクステリア事業の更なる拡大を目指してまいります。



当社は、環境配慮方針と四国化成グループの企業理念である「独創力」を組み合わせ、生まれたパーパス・ブランド「MEGLIO」のもと、「人と自然に“よりよい巡り”をもたらすことで、皆が安心して暮らせる街づくりに貢献」することを目指しています。今後も高意匠で上質な景観エクステリアの提案を通じて、空間価値の向上を図り、誰もが安心して暮らせる街づくりの実現に貢献してまいります。

■MEGLIO についてはこちら

<https://kenzai.shikoku.co.jp/brand/>

以上

このリリースに関するお問い合わせは 四国化成ホールディングス㈱ 経営企画室まで
TEL. 0877-21-4119